

[1] 身体機能・起居動作

- 1 麻痺等の有無
- 2 拘縮の有無
- 3 寝返り
- 4 起き上がり
- 5 座位保持
- 6 両足での立位
- 7 歩行
- 8 立ち上がり
- 9 片足での立位
- 10 洗身 11 つめ切り
- 12 視力 13 聴力

(その他) H27.1月、グループホームに入所。認知症が進行し、入所当時は見られなかった、暴力
 () 暴言が増えている。徘徊し他の利用者の部屋に入り放尿・放便する等、職員は毎日対応に
 () 追われている。入所生活をスムーズに過ごすため現介護度を希望。職員が立ち会う。
 ()
 (1-1.2) 四肢挙上・静止保持確認可。(1-3.4) 掴まらずに一人で寝返り・起き上がりできる。
 (1-5) ベッドに端座位で支えなしで保持できる。

[2] 生活機能

- 1 移乗 2 移動
- 3 えん下
- 4 食事摂取
- 5 排尿 6 排便
- 7 口腔清潔
- 8 洗顔 9 整髪
- 10 上衣の着脱
- 11 スポン等の着脱
- 12 外出頻度

(1-6~9) 支えなしで立ち上がり、両足立位・片足立位、支えなしで保持出来、掴まらず歩行出来る
 (1-10) 職員がタオルを渡し声掛けすれば、前は自分で洗う。
 (1-11) 職員が手・足とも切る。
 (1-12) 眼鏡なしで見える。(1-13) 補聴器なしで聞こえる。
 ()
 (2-1.2) 転倒無く一人で移乗・移動できる。徘徊するので見守る。
 (2-3.4) 8割は声掛けなしで食べるが、止まってしまう。職員が声掛けして自力で全量摂取する。
 (2-5.6) 2・3時間毎にトイレに誘導し排尿。職員がズボン下ろし、清拭・水洗を介助。ズボンを自分で

[3] 認知機能

- 1 意思の伝達
- 2 毎日の日課を理解
- 3 生年月日を言う
- 4 短期記憶
- 5 自分の名前を言う
- 6 今の季節を理解
- 7 場所の理解
- 8 徘徊
- 9 外出して戻れない

() 上げるが、パンツを上げないので職員が上げ直す。排便も同様で全介助。排便1回/日。
 () 利用者の部屋で放尿・放便し都度職員が処理する。
 (2-7~9) 歯ブラシを持っても分らない。ジェスチャーで誘導。タオル・ブラシを渡しても動作分から
 () ないので、職員が拭き・髪を梳かす。
 (2-10.11) 上着・ズボンとも、職員が手渡し、声掛け誘導すれば自分で着る。
 (2-12) 月、2回程職員と散歩。

[4] 精神・行動障害

- 1 被害的 2 作話
- 3 感情が不安定
- 4 昼夜逆転
- 5 同じ話をする
- 6 大声を出す
- 7 介護に抵抗
- 8 落ち着きなし
- 9 一人で出たがる
- 10 収集癖
- 11 物や衣服を壊す
- 12 ひどい物忘れ
- 13 独り言・独り笑い
- 14 自分勝手に行動する
- 15 話がまとまらない

()
 (3-1) 重度の認知症で、意味不明な事しか言わないので殆ど出来ないを選択。
 (3-2~7) 質問を理解出来ず、違う話しを始める。生年月日は分からないと答える
 () 姓で呼びかけ名前を聞くと名前は言えた。
 (3-8.9) 毎日、廊下を徘徊する。自分の部屋を忘れ、他の部屋に入り放尿・放便する。
 ()
 (4-3) 1日に何度も、気に入らなると怒り出し暴言・暴力が絶えない。
 (4-4) 眠剤服用し、夜間の徘徊なし。(4-6.7) 職員に注意されると、大きな声を出し暴力、暴言
 () を吐き抵抗する。(4-11) トイレのカラン等の共用物を壊す。
 (4-12) 職員の顔を忘れてる。自分の部屋を忘れて戻れない。

[5] 社会生活への適応

- 1 薬の内服
- 2 金銭の管理
- 3 日常の意思決定
- 4 集団への不適応
- 5 買い物
- 6 簡単な調理

(4-13) 巡回すると、常にブツブツ独り言を言っている。
 (4-14) フロアで座っているように指示するが、言うことを聞かず徘徊を繰り返す。
 (4-15) 意味不明な事を言い会話にならない。
 ()

[6] 特別な医療

(5-1) 職員が、薬・水を準備。啗んだり・舐めたりし飲まないの、声掛け誘導する。
 (5-2) 小遣いを施設で管理。(5-3) 自分で判断できない。職員がすべて決めている。

[7] 日常生活自立度

- 1 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)
- 2 認知症高齢者の日常生活自立度

(5-4) 利用者との喧嘩し、手を出すようになり職員が常に対応している。(5-5.6) 施設が介助。
 (6) 特記なし。
 (B2) 重度の認知症で、日常生活の全てに介助必要。放尿・放便頻繁。
 (IV) 薬・金銭管理出来ない。判断出来ず、意思疎通困難。暴言・暴力。徘徊。